



子供と一緒に本を楽しみませんか？

先生方は、どんな時に子供と本を読んでいますか？また、どんな本を読んでいますか？

乳幼児期の子供は、絵本などのお話を見たり聞いたりすることが大好きです。

乳幼児期から、身近な人に絵本の読み聞かせをしてもらうことは、子供たちの豊かな心を育て、読書への意欲を高めることにつながります。1日1冊、子供たちとじっくり本を読んでもみませんか？



HPにも情報がいっぱい！

保護者にもぜひご紹介ください！

広島県教育委員会(幼児教育・生涯学習・社会教育)



おひざにだっこの読み聞かせ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/dakko-yomikikase.html>



読み聞かせっていろいろ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokokomi/kodomo-yomikikase.html>



親の方がのめり込み

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/otona-yomikikase.html>



あかちゃんにことばのプレゼント

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oyakokomi/kotobanopresent.html>

“読み聞かせ”以外の情報もいっぱい！

詳しくはこちら↓

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/yoji-shogai.html>



広島県立図書館

『赤ちゃんと楽しみたい絵本ガイド(令和2年度改訂版)』

(広島県立図書館/編集, 広島県読書推進運動協議会/発行)



赤ちゃんと楽しみたい絵本の紹介や「赤ちゃんと絵本についてのQ&A」が掲載されています。例えば...

Q:せっかく読んでいるのに、途中でページをめくってしまうのですが？

Q:同じ絵本ばかりを、何度も「読んで」とせがまれるのですが？

答えは、左のHPから確認してみてくださいね。



http://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/?action=common_download_main&upload_id=10487

その他にも本にまつわる情報を紹介しています！

本の紹介(図書館職員による新しい本の紹介・乳幼児向け(絵本ガイド等))

http://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/?page_id=361

「うちで読もうよ」～図書貸出事業～

http://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/?page_id=3217



問合せ先 広島県立図書館事業課 (082) 241-4973

メッセージ ～子供たちと向き合う先生方へ～ 安田女子短期大学 橋本 信子 教授

私の絵本の楽しみ方

私は絵本を二通りに楽しんでいる。一つは「読み語り」で、一つは「一人読み」である。

「読み語り」の楽しさは子供の反応にある。ストーリーのない、オノマトペ(擬態語・擬声語)だけで展開する絵本に、声をあげて笑う赤ちゃんには和まされる。子供の指差しやつぶやきをきっかけに始まる会話は何より楽しい。聞き手が大勢の時は、静まり返る空気が互いの反応に呼応する子供たちのやり取りが興味深い。聞き手が一人でも大勢でも、読み語られる絵本はその魅力を十分に発揮する。万能である。

絵本には意外な発見があり、「一人読み」の楽しさに目覚めた。『大きなかぶ』(福音館書店)の挿絵にはかぶの抜けない理由がさりげなく描かれ、それを発見した時には挿絵作家の一計に驚嘆した。その時から「一人読み」は、私の至福の時となった。

一冊の絵本に込められた、創り手の心尽くしに触れる時、育つ者と育てる者に向けられた敬愛の念に思いが至る。人を大切に想う人たちが創る絵本の世界は、だから心から楽しめる。

橋本教授には、「広島県子供の読書活動推進計画」の有識者として、また乳幼児教育支援センターのアドバイザーボードの委員として、本県のような取組に御指導・御支援をいただいています。



事業紹介

「遊び 学び 育つひろしまっ子！」の実現に向けた 乳児保育における5つの力の育み事業 ～3歳未満児が遊びや生活の中で安心して主体性を発揮するために～

【研究開発指定園・所】

- 社会福祉法人青雲福祉会
青雲保育園（東広島市）
- 東広島市立中黒瀬保育所
- 社会福祉法人 光生会
保育所ひかり学園（熊野町）
- 社会福祉法人みどり会
みどりの森保育園（広島市）

子どもの学びを見取り、保育の改善につなげる取組

園内研修の一例
～付箋を使った話し合い～

あどひまっ子



子供の育ちの原点となる乳児期に着目し、令和2年度・令和3年度の2年間で実施している事業です。各研究開発指定園・所においては、生活や遊びの中で、0・1・2歳の子供が何を学んでいるのか、5つの力がどのように育っているのかを読み取りながら、子供主体の保育を実践するため、子供の姿（エピソード）から学びや育ちを読み取る園内研修や、公開保育を中心とした他の研究開発園・所と合同での学び合い等を進めています。令和4年3月2日（水）には、事業報告会を予定していますので、ぜひ御参加ください。

研修開催！

「特別な支援を必要とする幼児児童のための幼保小接続期の教育・保育」講座

7月16日・28日（オンライン）

【講師】独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター 上席総括研究員（兼）センター長 久保山 茂樹 氏



幼保小接続期における特別な支援を必要とする子供の育ちと学びを連続させるための指導の工夫、環境づくり、保護者・関係者連携等について学びました。

研修モニターの声

朝の会、帰りの会で椅子に座れない子の姿が、気になることがありましたが、「どんな座り方でも話を聞いていることが大事」という久保山先生の話から、少し離れたところでも座って気持ちを向けていると感じることも多くあり、形にこだわりすぎず、子どもたちの内面に注目していくことの大切さを学びました。

～研修モニターA先生（公立保育所）～

「SOSをだしてもいいんだよ」、久保山先生のこの言葉を聞いて、困ったときに困ったといえない子供が多いように思いました。子供が安心して伝えられないような雰囲気や教師との関係があるからではないでしょうか。子供と直接的に関わる教師の信頼関係づくりが重要だと感じました。

～研修モニターB先生（公立幼稚園）～

“多様性を大事にする社会”という先生の言葉は、今この時代だからこそ心に響きます。一人ひとりが得意分野で活躍して、“あなたはあなたで良い”という事を共有していける世の中になるようにと願いますし、いつもその事を念頭に置き、保育を行っていきたいと思います。

～研修モニターC先生（私立幼稚園）～

※ 乳幼児教育支援センターでは、センターが実施する研修について、設置形態・施設種別を超えて率直な意見交換を行っていただく、研修モニターを設置しており、各希望研修後には、参加者の皆様に事後アンケートを提出していただくほか、研修モニターからより詳細な感想等を聴取することで、皆様のニーズに沿った研修の実施に向け、取り組んでいます。

【発行元及び連絡先】広島県乳幼児教育支援センター

〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会事務局（広島県庁東館6階）

TEL 082 (513) 4978 FAX 082 (212) 3331

広島県乳幼児教育支援センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/youji-index.html>